

IPMATE FT3000R-ST対応
Windows®2000ドライバのインストール手順について

2000年11月

<はじめに>

このたびは、IPMATE FT3000R をお買い求め頂き誠にありがとうございます。
本書では IPMATE FT3000R-ST を Windows®2000 でご利用いただくためのネットワークドライバのインストール方法についてご説明しています。本書の手順を良くお読みになって、ドライバのインストールを行ってください。

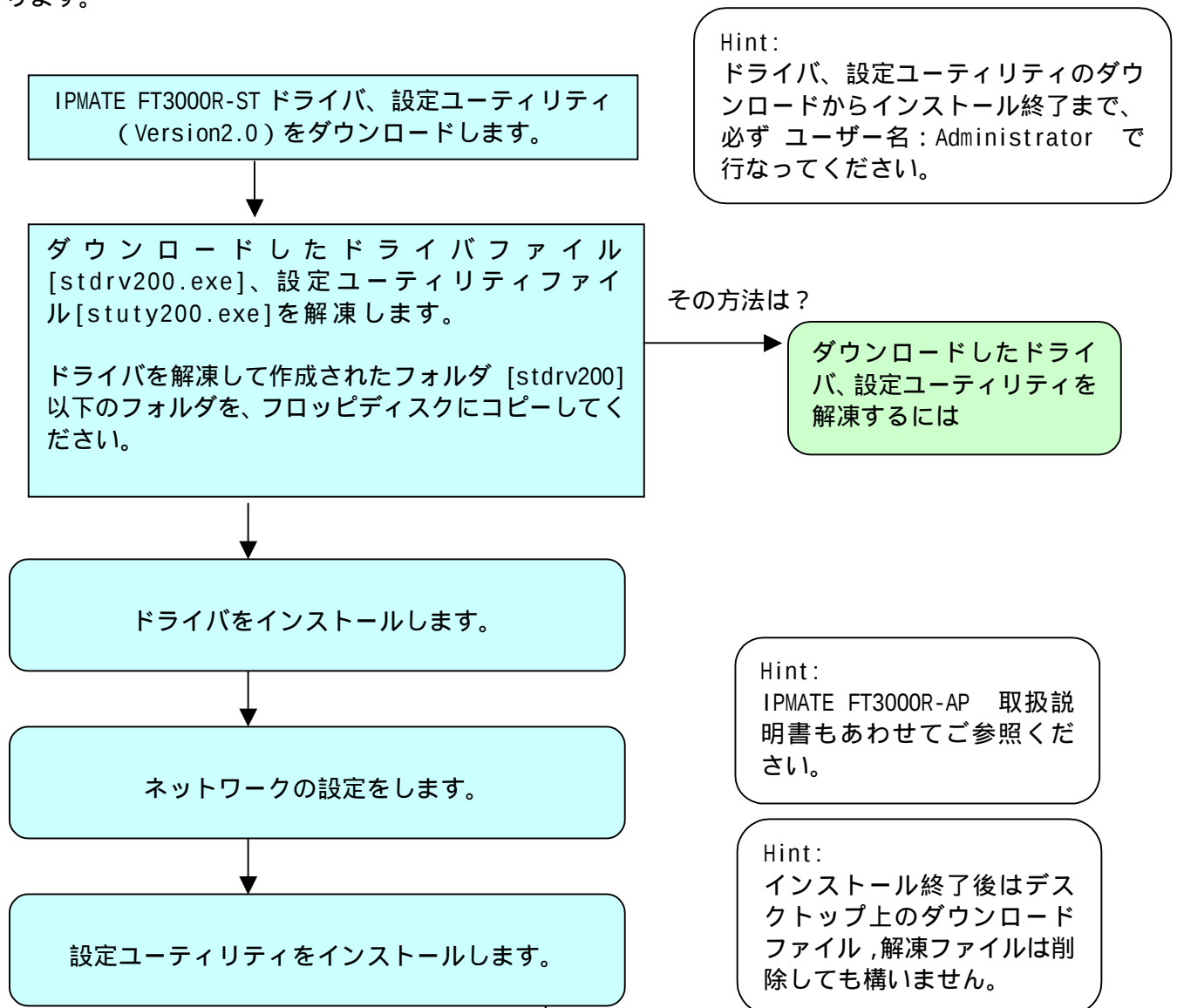
- ・ Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

ご注意ください:

本説明書で、Windows 2000 と表記されている場合、Windows®2000 Professional を示します。

<インストールの流れ>

ドライバ、設定ユーティリティをダウンロードし、解凍します。
ドライバをインストールする場合には、解凍した内容をフロッピーディスクに保存する必要があります。



ダウンロードしたドライバ、設定ユーティリティを解凍するには

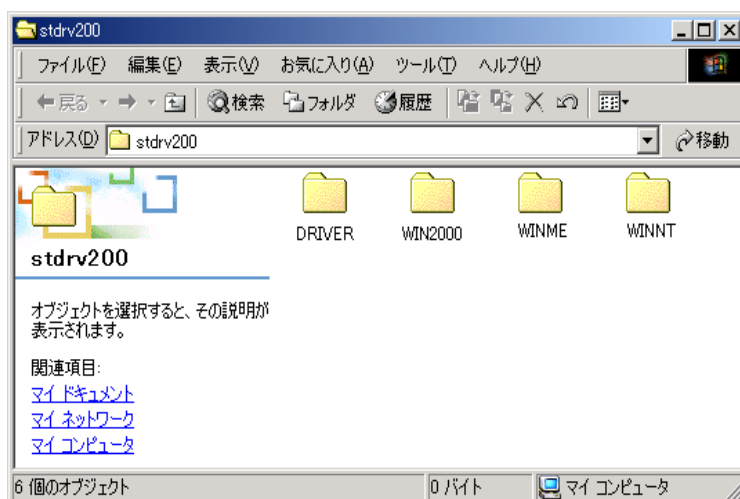
<ドライバ、設定ユーティリティのダウンロード>

ホームページより、IPMATE FT3000R-ST用ドライバ、設定ユーティリティをダウンロードします。
保存先には、お使いのパソコンの「デスクトップ」を指定してください。

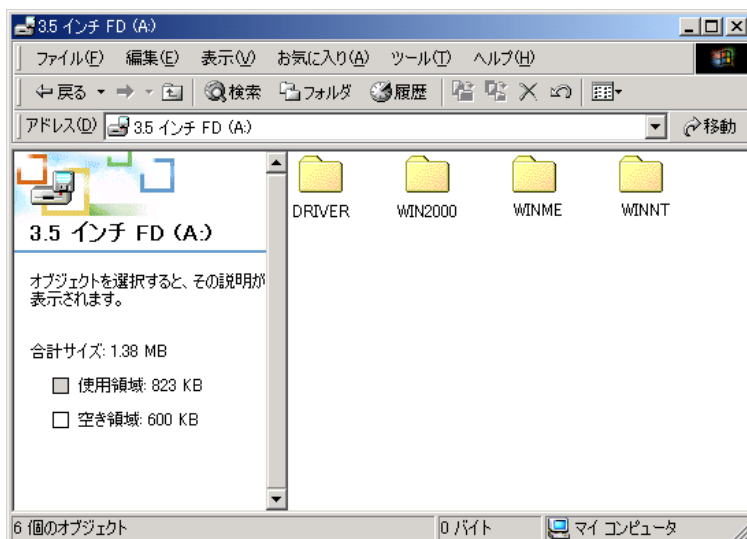
ダウンロード後、デスクトップにドライバ：stdrv200.exe 設定ユーティリティ：stuty200.exeという名前の実行形式ファイルが作成されます。

<ドライバの解凍手順>

1. デスクトップにダウンロードされた、[stdrv200.exe]をダブルクリックします。
デスクトップ上に、[stdrv200]というフォルダが作成されます。
2. [stdrv200]フォルダを開くと、以下のディレクトリ構成になっています。

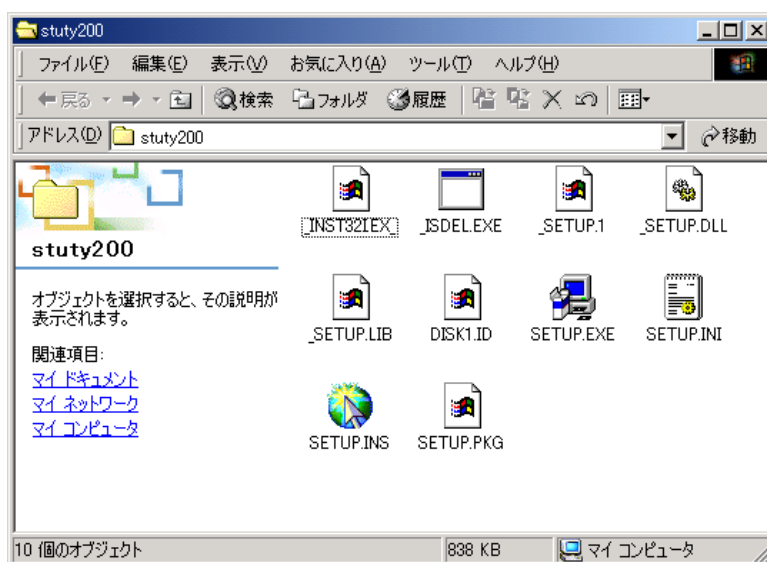


3. フォーマットされたフロッピーディスクをフロッピードライブにセットします。
4. メニューバーから [編集] → [すべてを選択] をクリックします。
5. メニューバーから、[ファイル] → [送る] をポイントし、[3.5インチFD]をクリックします。ドライバファイルがフロッピーディスクにコピーされます。
6. コピーが終了したら、フロッピーディスクの内容が以下の通りであることを確認してください。



< 設定ユーティリティの解凍手順 >

- 1 . デスクトップにダウンロードされた、[stuty200.exe]をダブルクリックします。
デスクトップ上に、[stuty200]というフォルダが作成されます。
- 2 . [stdrv200]フォルダを開くと、以下のディレクトリ構成になっています。



この後、次ページ以降を参照し、ドライバのインストールを行なってください。

IPMATE FT3000R - ST対応
Windows®2000ドライバのインストール手順について

2000年11月

<はじめに>

このたびは、IPMATE FT3000R をお買い求め頂き誠にありがとうございます。
本書では IPMATE FT3000R-ST を Windows®2000 でご利用いただくためのネットワークドライバのインストール方法についてご説明しています。本書の手順を良くお読みになって、ドライバのインストールを行ってください。

・Windows®は、米国Microsoft Coporrationの米国およびその他の国における登録商標です。

<インストール手順>

IPMATE FT3000R - ST を Windows®2000で使用する場合、IPMATE FT3000R - STのネットワークドライバをインストールします。

インストールの際には、Windows®2000のプラグアンドプレイ機能によって本装置を検出します。お使いのパソコンによっては、Windows®2000 で表示される画面は、本紙で説明している画面と異なる場合があります。

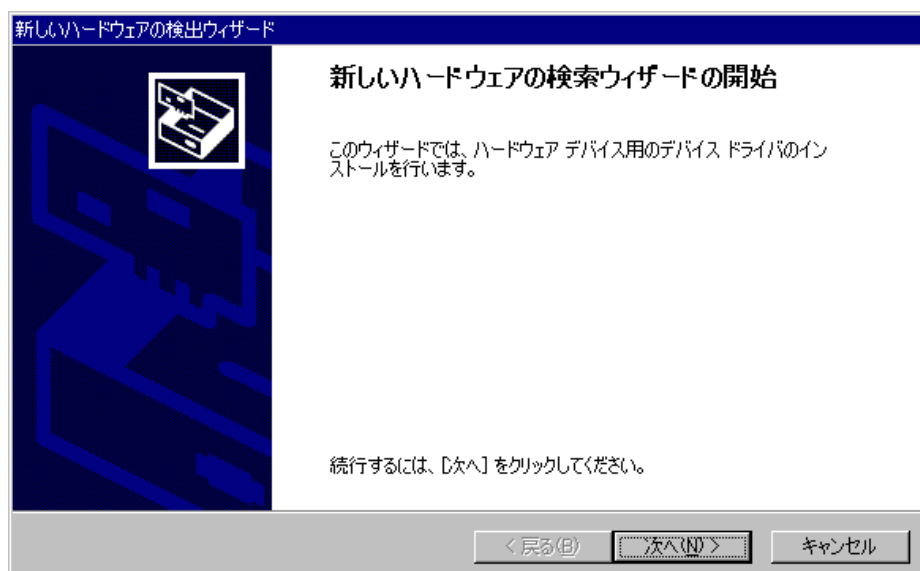
1. パソコンを起動し、Administrator として、ログインします。

2. IPMATE FT3000R - ST を PCMCIAスロットにセットします。

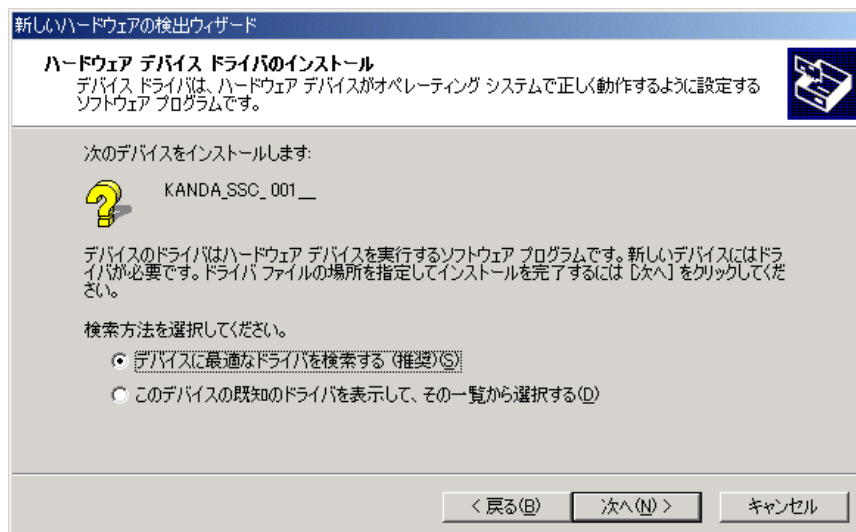
「新しいハードウェアが見つかりました」画面が表示され、ドライバのインストールが開始されます。



3. 「新しいハードウェアの検索」ウィザードが開始されます。

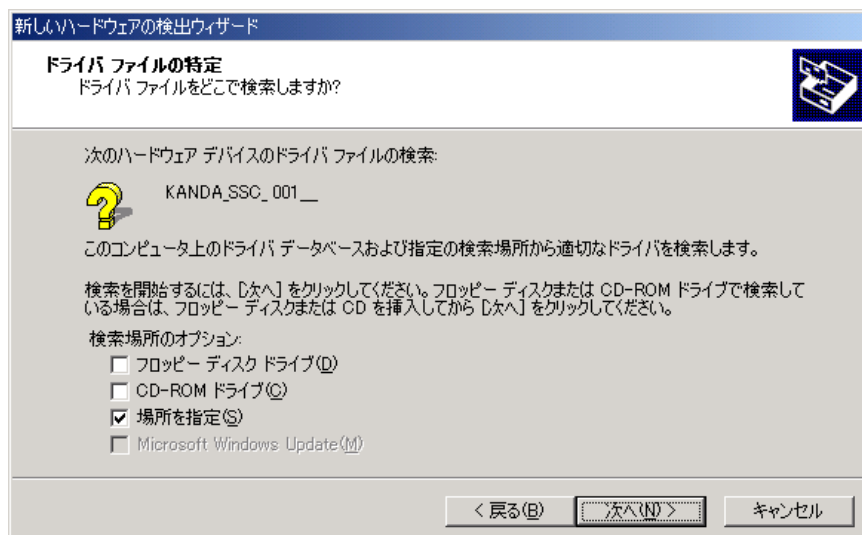


4. ハードウェア デバイス ドライバのインストールが始まります

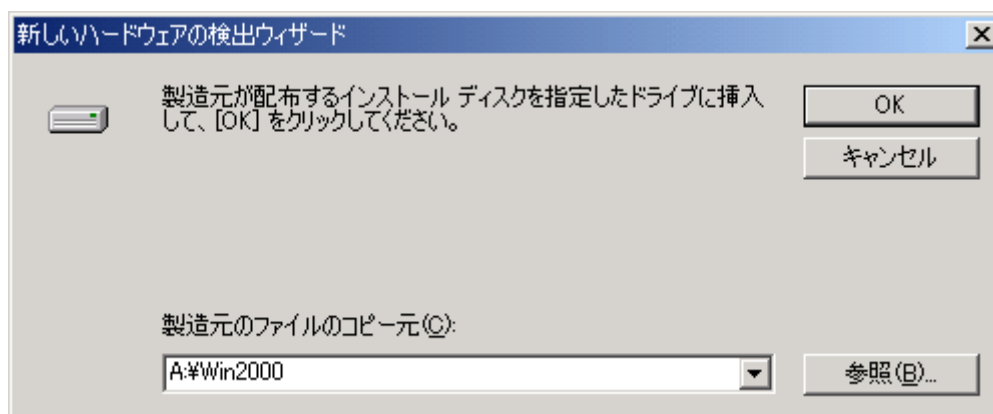


Hint:
IPMATE FT3000R-ST のネットワークドライバのインストールには、Windows®2000 の CD-ROM が必要になる場合があります。

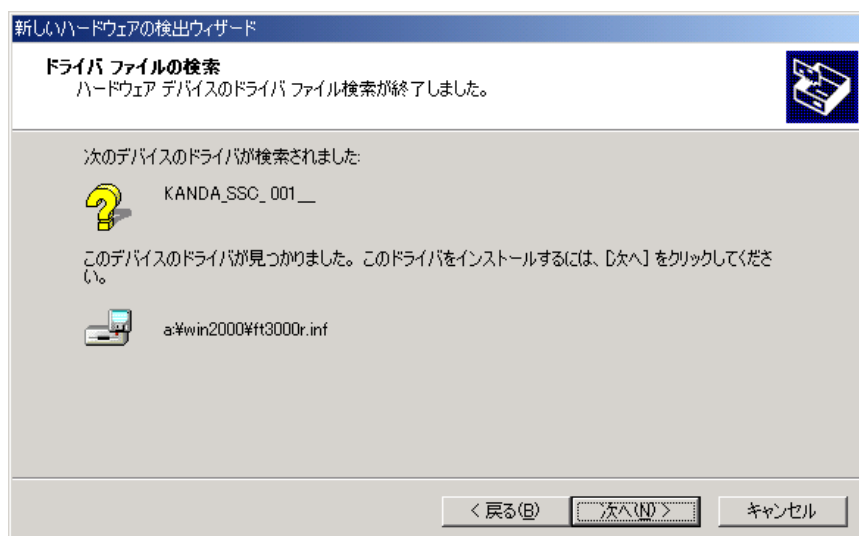
5. 「ドライバファイルの特定」画面で[場所を指定]をクリックします。他のドライブにチェックがついている場合は、はずします。



6. 新しいドライバを入れたフロッピーディスクをドライブ「A:」にセットし、製造元ファイルのコピー元に[A:¥Win2000]と入力して、[OK]をクリックしてください。



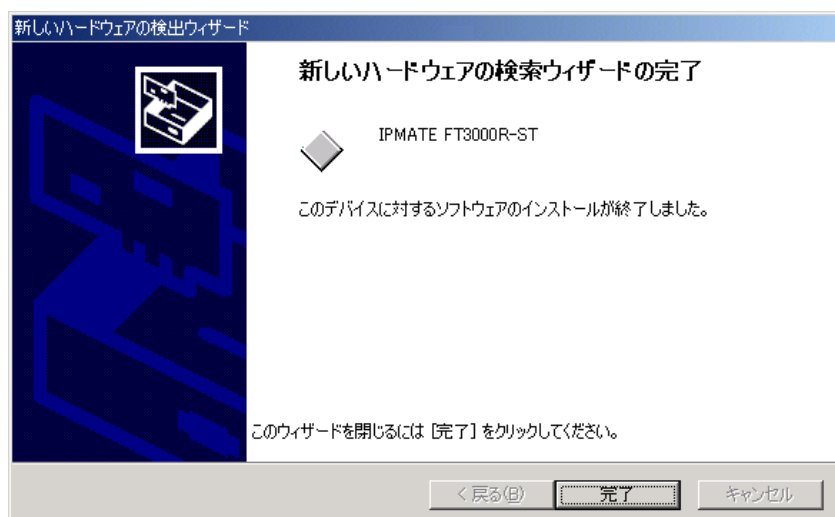
7. 「このデバイスのドライバが見つかりました」 a:\win2000\ft3000r.inf と表示されていることを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。



8. この後、以下のような確認画面が表示される場合があります。[はい]をクリックしてください。



9. フロッピーディスクから、ドライバがインストールされ、完了画面が表示されます。[完了]ボタンをクリックすると、インストールが完了します。



この後、次頁以降を参照しネットワークの設定を行ってください。

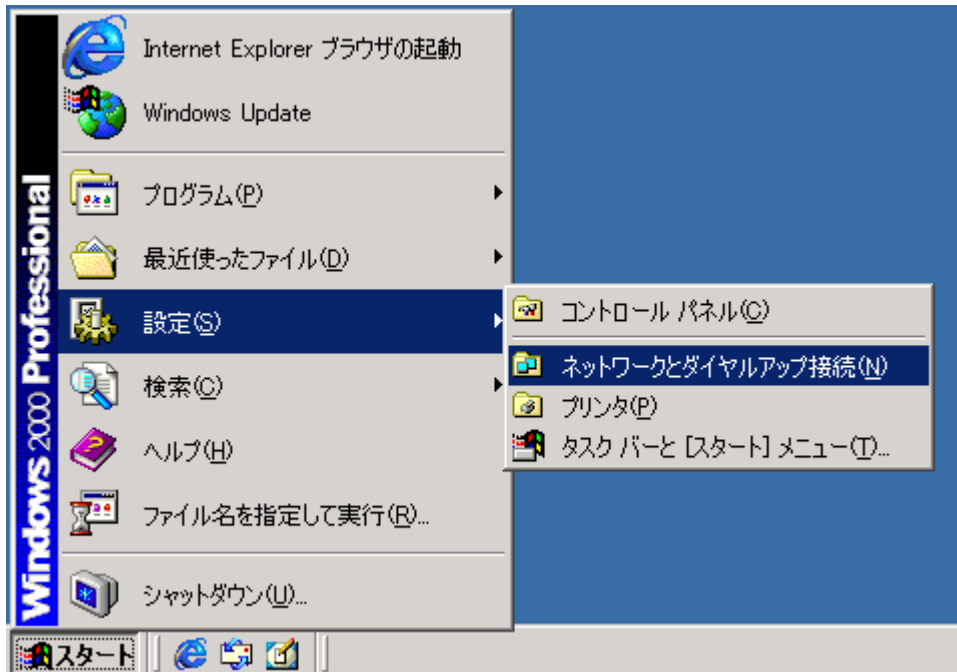
IPMATE FT3000R - ST対応

ネットワークの設定

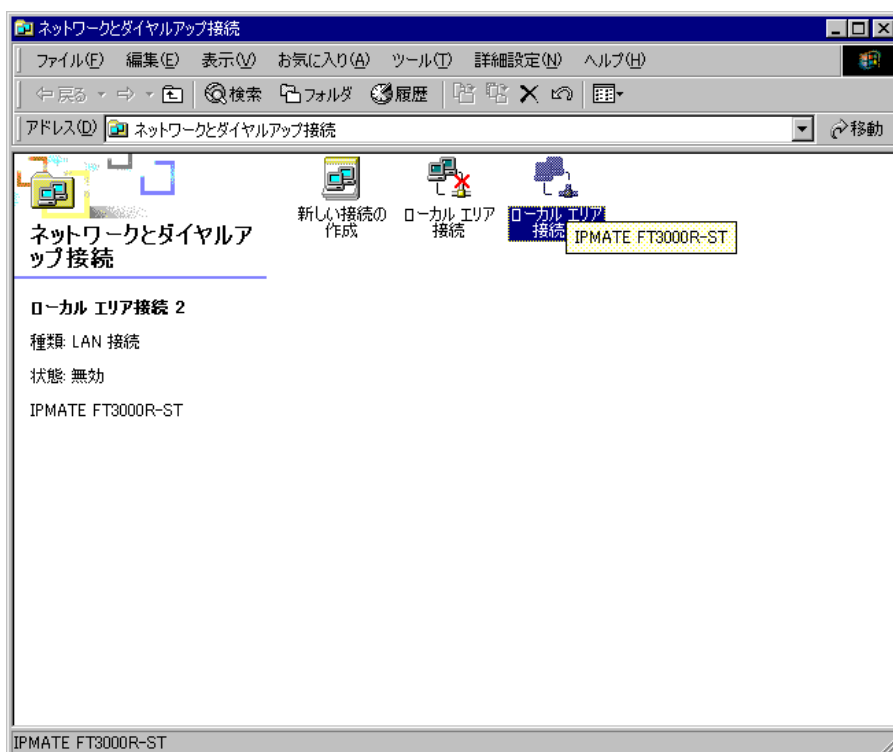
< ネットワークの設定手順 >

IPMATE FT3000R - ST のネットワークドライバをインストールしたら、ワイヤレスLANに接続するためのネットワークの設定を行います。

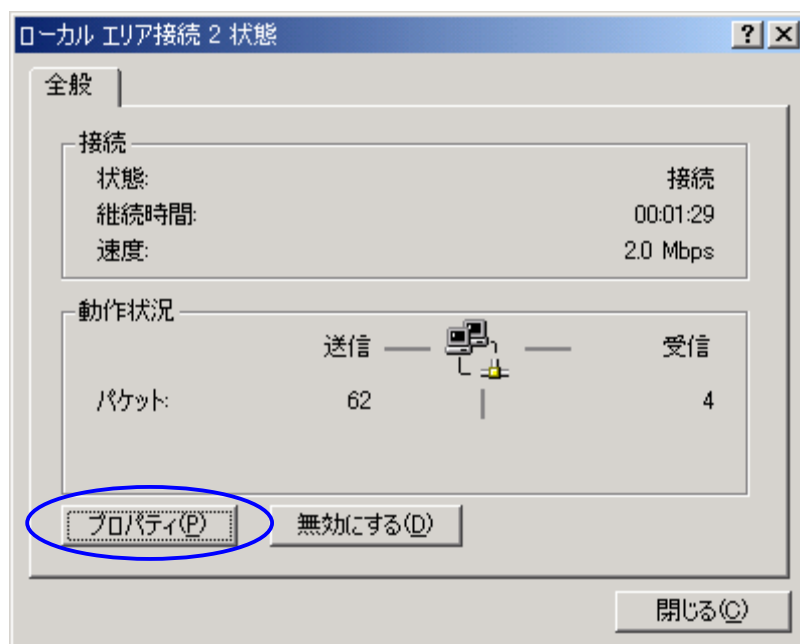
1. [スタート]→[設定]→[ネットワークとダイヤルアップ接続]をクリックします。



2. 「ネットワークとダイヤルアップ接続」に表示される「ローカルエリア接続」のアイコンにマウスポインタを近づけ、IPMATE FT3000R-STのアイコンであることを確認してダブルクリックします。



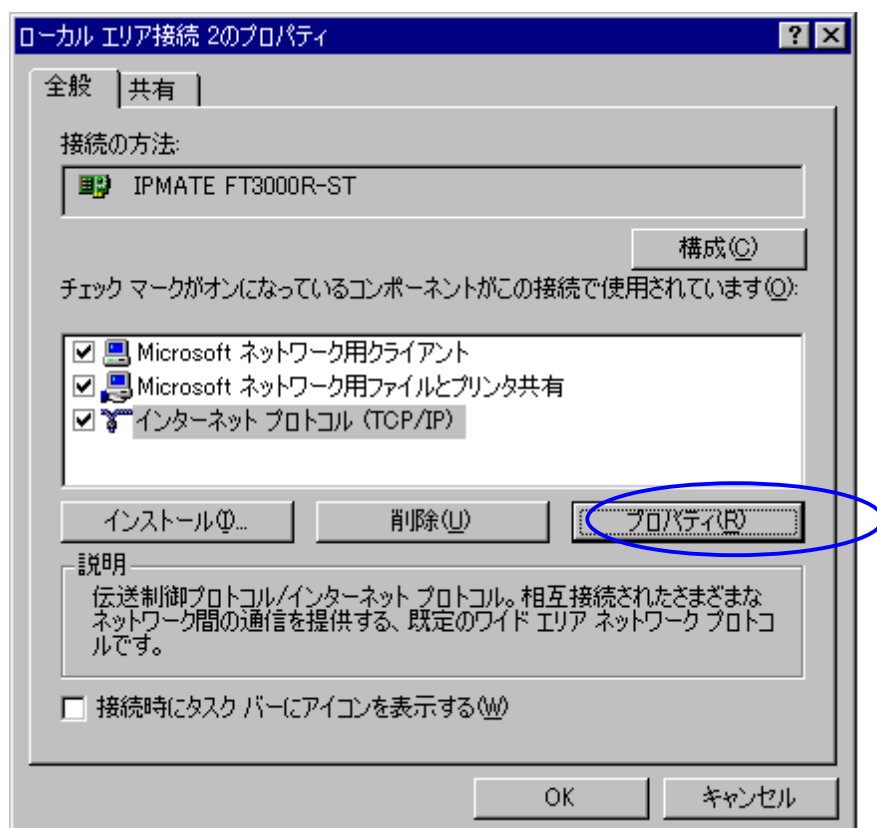
3. 「ローカルエリア接続 n 状態」画面が表示されます。[プロパティ]ボタンをクリックします。



Hint:

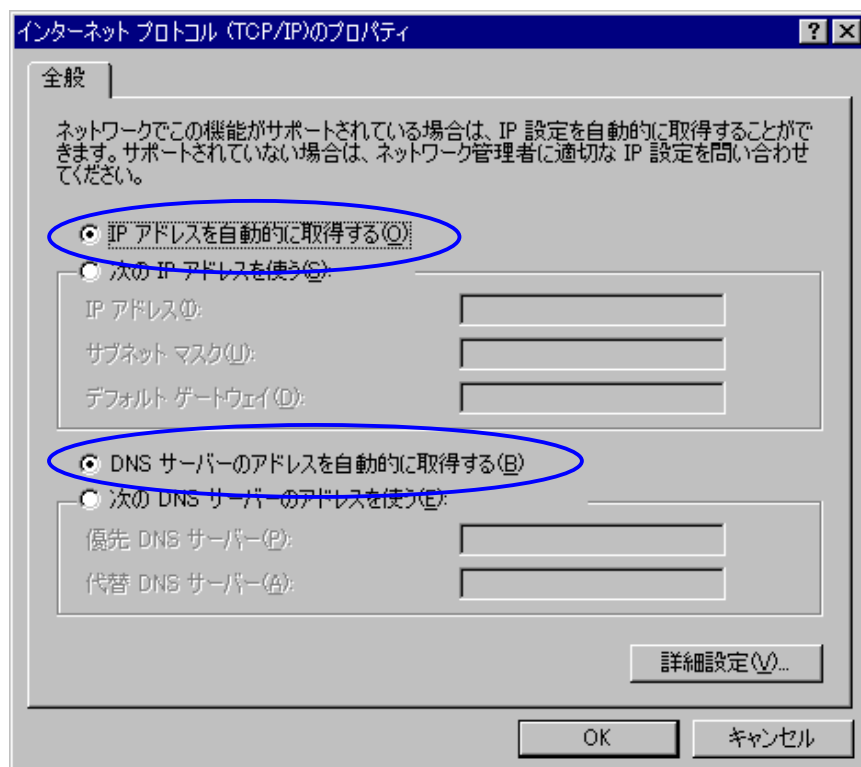
「ローカルエリア接続 n」の n の値はコンピュータに登録されているネットワークアダプタの数によって異なります。

4. IPMATE FT3000R-STのネットワーク設定画面が表示されます。
インターネットプロトコル(TCP/IP)がインストールされていることを確認し、項目を選択して[プロパティ]をクリックします。



5. 接続するLANの設定に従って、ネットワークの設定を行なってください。

- ・ 「IP アドレスを自動的に取得する」
 - ・ 「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」
- をクリックし、[OK]をクリックします。



DHCP機能を利用してお使いになる場合は、この後次ページ以降を参照してワークグループの設定を行なってください。

< DHCP機能を利用しないとき >

お使いのコンピュータで、DHCP機能を使用しない場合は、IPアドレスやサブネットマスク、DNSサーバーのアドレスを設定します。

「ゲートウェイ」等、ネットワークの詳細設定が必要な場合は[詳細設定]をクリックします。

IPMATE FT3000R - ST対応

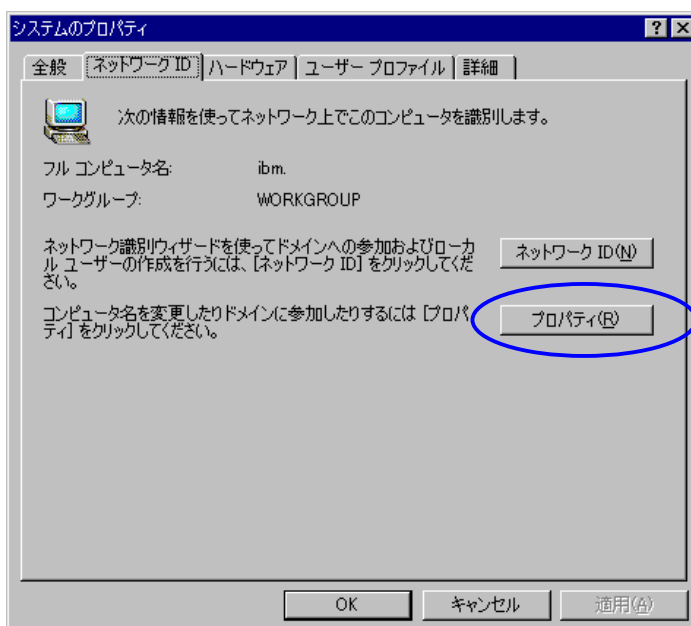
既存の LAN に接続するための設定

<ワークグループの設定>

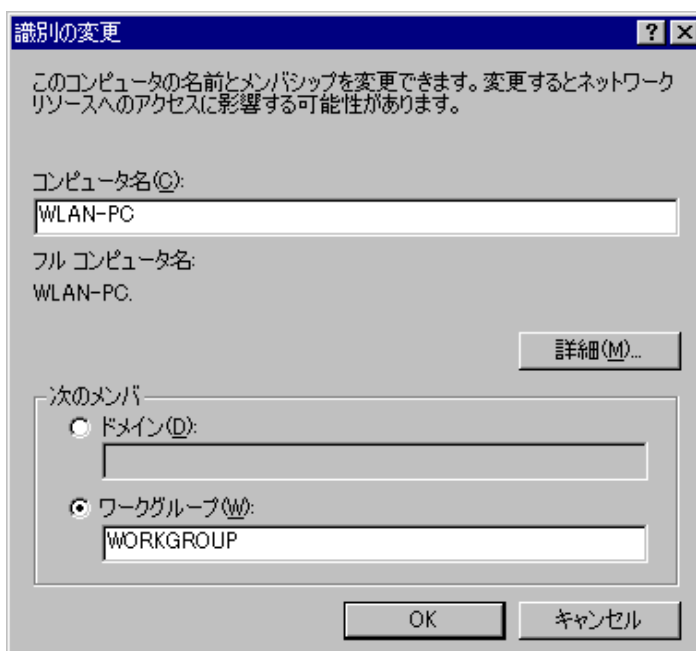
IPMATE FT3000R - ST からワイヤレスLANに接続するためのネットワークの設定後、コンピュータを既存のLANに接続する場合、ワークグループの登録が必要です。

<ワークグループ設定手順>

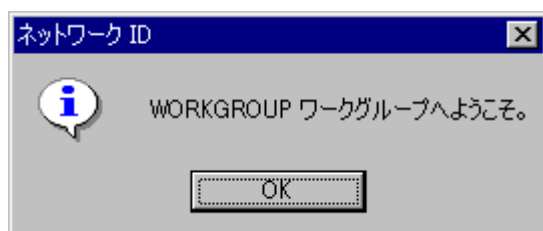
1. [スタート]→[設定] をポイントし、[コントロールパネル]とクリックします。
「コントロールパネル」画面が表示されます。
2. [システム]アイコンをダブルクリックし、表示されるシステムのプロパティ画面から、[ネットワークID]タブをクリックします。



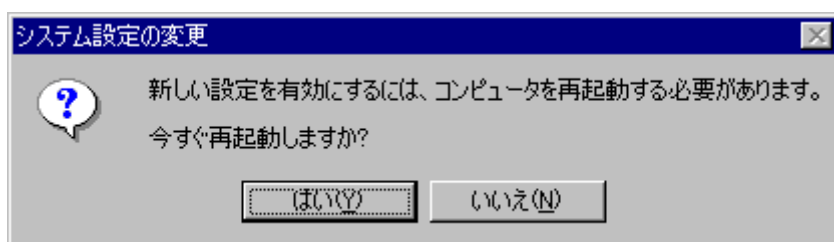
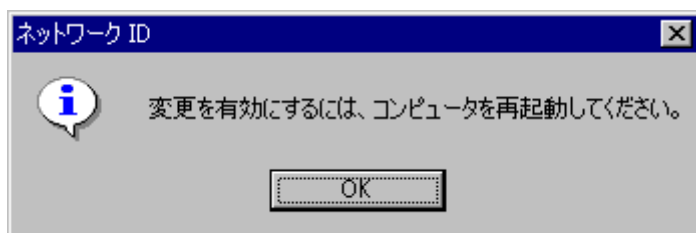
3. [プロパティ]をクリックし、コンピュータ名、ワークグループを設定します。



3. [OK]をクリックすると、ワークグループへの登録確認画面が表示されます。



4. 「ネットワーク ID」の確認画面で[OK]をクリックすると再起動を確認する画面が表示されます。[OK]をクリックし、コンピュータを再起動してください。



以上でネットワークの設定は終了です。

ネットワークが正常に使用できているかどうか、確認してください。

うまくインストールできなかった場合は、IPMATE FT3000R-STの取扱説明書のトラブルシューティングもご覧ください。

ワンポイント！

ネットワークの動作確認には次の方法が使用できます。

< IPMATE FT3000R-AP の設定画面を表示する >

WWWブラウザを立ち上げます。

URL に FT3000R-AP の IP アドレスを入力します

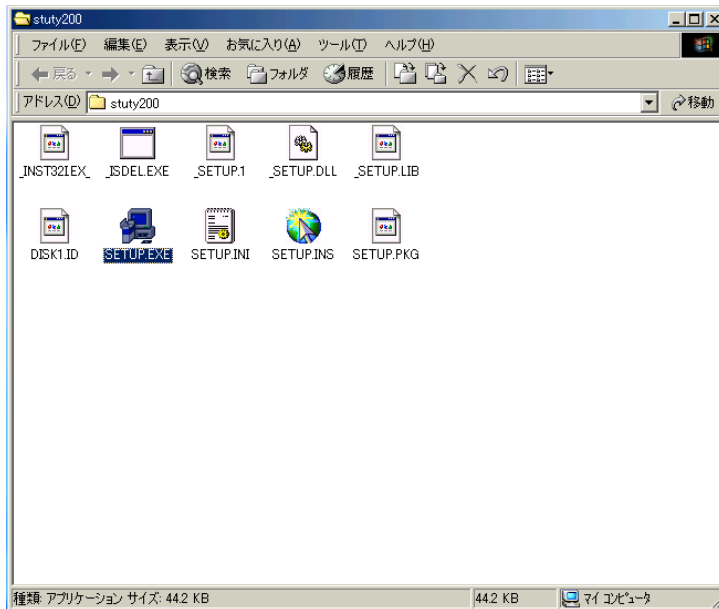
初期値の場合 192.168.1.1

ネットワークが正常に動作していれば設定画面が表示されます。

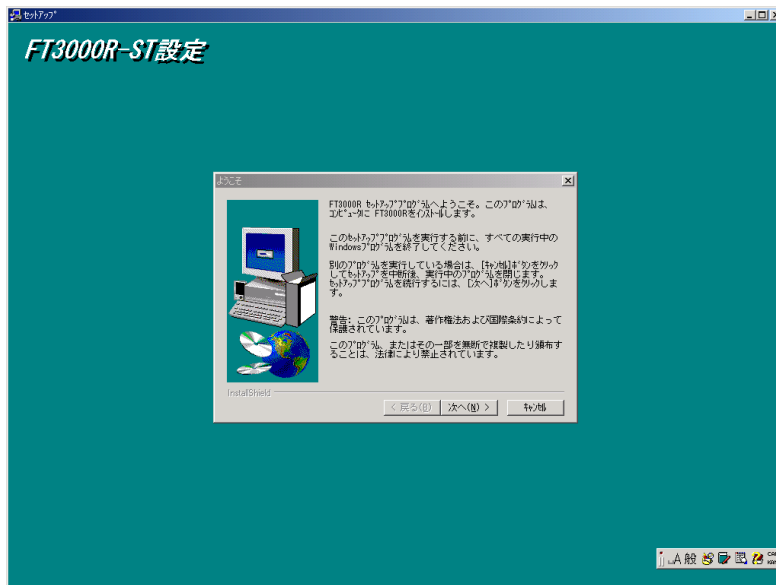
IPMATE FT3000R-ST対応 設定ユーティリティのインストールについて

<設定ユーティリティのインストール手順>

1. デスクトップ上の「stuty200」フォルダをクリックします。
「Setup」ファイルをダブルクリックします。



2. インストーラが起動されます。[次へ]をクリックします。



以降、画面の表示にしたがって設定ユーティリティをインストールします。

以上でインストール作業は終了です。
IPMATE FT3000R-ST 取扱説明書をご参照のうえ、「ESSID」を変更してください。

IPMATE FT3000R - ST対応

設定ユーティリティの削除について

<設定ユーティリティの削除手順>

1. [スタート] → 「設定」の順にポイントし、[コントロールパネル]をクリックします。
「コントロールパネル」画面が表示されます。
2. 「コントロールパネル」から、[アプリケーションの追加と削除]をクリックします。
「アプリケーションの追加と削除」画面が表示されます。
3. 「現在インストールされているプログラム」の中から「FT3000R」をクリックし、[変更/削除]ボタンをクリックします。



4. [ファイル削除の確認]画面が表示されます。
[はい]をクリックします。



- 5 . 削除プログラムが起動され、「FT3000R」（設定ユーティリティ）が削除されます。
「インストールが完了しました」と表示されたら、[OK]ボタンをクリックしてください。
- 6 . 「アプリケーションの追加と削除」画面で、[閉じる]をクリックしてください。

以上で、設定ユーティリティが削除されました。